



この度、「南加岐阜県人会」が創立100周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

南加岐阜県人会は、1911年(明治44年)1月の発足以来、岐阜県から当地に移住された方々の親睦や相互扶助、地域への定着の支援などを通して、祖国日本、そして故郷岐阜県との架け橋となってこられました。

近年では、新たに渡米した若い世代も多く参加されるようになり、「岐阜」を愛し「岐阜」に対して深い思い入れを持った方々が“やっとかめ”(久しぶり)を合い言葉に交流を深める貴重な場となっていることは、誠に喜ばしい限りであります。

一世紀に及ぶ長い歴史の中で、南カリフォルニアにおける日系人社会への信頼と発展の礎を築き、南加岐阜県人会が継続してこられましたことは、水谷会長をはじめ、歴代の会長並びに会員の皆様方の熱意と御尽力の賜であり、ここに深く敬意を表する次第であります。

さて、本年3月に発生した東日本大震災では、東北及び関東地方が甚大な被害を受けただけでなく、日本全体にも大きな影響を及ぼしました。現在日本では、国民が一丸となって復旧・復興に向けて取り組んでいるところであり、本県としましても、支援物資の提供や職員の派遣など出来る限りの支援に全力で取り組んでおります。南加岐阜県人会におかれましても、行事を開催される度に黙祷や義援金を募って頂くなど、日本のためにできることを考え、行動して頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

また、半世紀前、伊勢湾台風で本県が甚大な被害を受けた際も、御支援を頂いたと伺っておりますが、こうした皆様のお心遣いは、遠く離れていても国や故郷への変わらない愛着心の賜であると信じております。

現在本県では、「魅力あふれる『清流の国ぎふ』づくり」を目指して、活力、安全・安心、自立の県政に全力で取り組んでいるところであり、今後も皆様に愛され、誇れる岐阜県づくりを進めて参ります。

最後に、この100周年を契機として、会員の皆様方の交流が一層深まり、米国と日本、そして岐阜県を結ぶ架け橋として、更なる御活躍を御期待申し上げますと共に、南加岐阜県人会の益々の御発展と会員の皆様方の御健康と御多幸を祈念しまして、お祝いの言葉と致します。

岐阜県知事 古田 肇